

医療介護福祉政策研究フォーラム

第50回月例社会保障研究会講演

# 患者とともに生きる

三井記念病院 院長

高本 眞一

2017.9.21 日本記者クラブ・ホールAC

# Footprints of my life...

- 建築設計士の父
- 4人兄妹の長男
- 宝塚生まれ、四国松山で成長
- 愛光学園出身



# Albert Schweitzer (アルベルト・シュヴァイツァー)

1875 - 1965

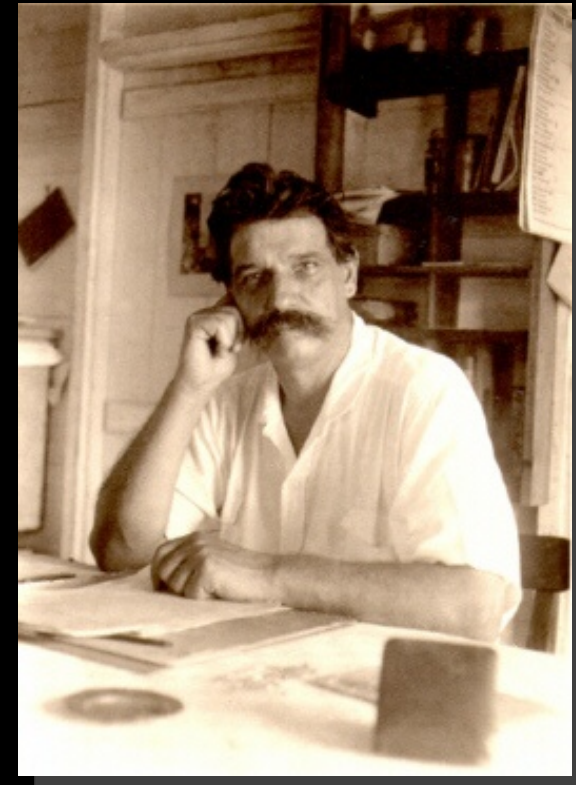
*“ Reverence for Life ” 「生命への畏敬」*

*“I am **Life** that wills to Live in the Midst of **Life** that wills to Live”*

*“Out of My Life and Thought”*

「わたしは、生きようとする生命にとりかこまれて、生きようとする生命である」

「わが生活と思想より」



# Noboru Iwamura (岩村昇) 1927 - 2005

Healthcare Activity in Nepal

(ネパールで医療活動)

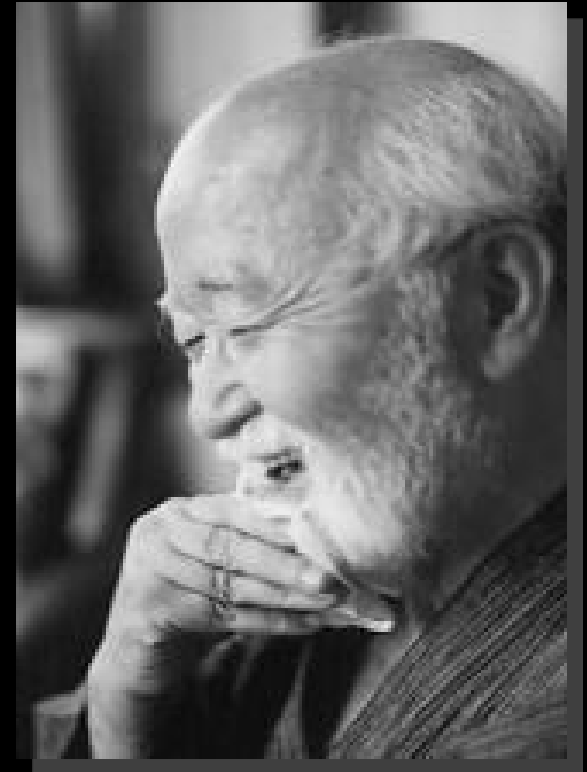
*“To live is to share…”*

「生きるとは 分かちあうこと」

*“To live together”*

「共に生きる」

僻地医療・海外医療を志すために  
医師になろうと考えた。



# Martin Buber (マルティン・ブーバー) 1878 - 1965

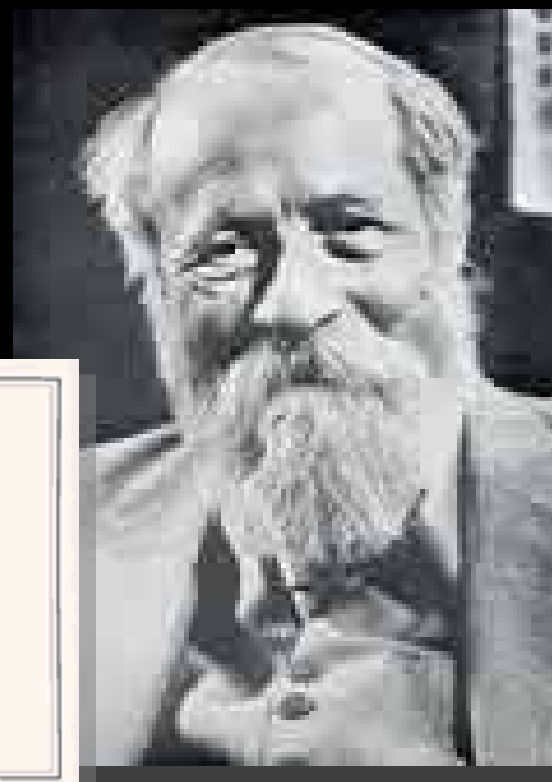
Philosopher & Scholar of Sociology

(ユダヤ教宗教哲学者・社会学研究者)

*“Ich und Du”* 「我と汝」

*“I and Thou”* 「俺とお前」

「我と汝の、実存的な関係の  
中に本当の人間らしさがある」





THE UNIVERSITY OF TOKYO

# *Medical School the University of Tokyo*

1965 (S40) .4 ~ 1973 (S48) .3

ボートに熱中、「ともに生きる」ことの体験



# 外科医を志望

- 海外医療、へき地医療のためには外科医の方がよいと考えた。
- その後、海外医療への希望はヒーロー願望であることを認識。
- 患者から信頼されるよい医師になることを決意。自由になれた。
- 東大では外科医志望が多く、くじ引きで敗れた。
- 三井記念病院の外科レジデントになり、最高のレジデント教育を受けた。
  
- 物事の中に何か誤りがあると思い、若い人がそのことにより不利を生じると考えられたら、恐れずに発言した。
- もし、その為に都合が悪くなったら、海外医療を考えよう。

# 何故、心臓外科医になったか

- 三井記念病院は心臓外科が得意であった。  
木本誠二東大名誉教授が病院長  
東大のストで優秀な心臓外科医が三井に勤務  
2年生でASD8例の術者となる。  
日本で初めてIABPの臨床、研究を行った。  
Harvard, MGH に留学。心筋保護の研究に従事。
- 心臓外科関連の仕事に深く従事。  
世界の心臓外科は発展途上
- 卒後8年目に心臓外科医になることと決心。

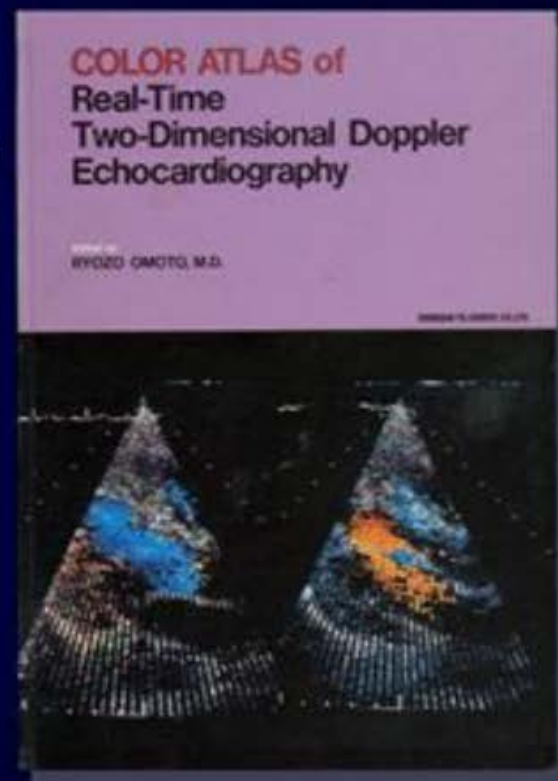


# *Saitama Medical School*

1980.2 – 1987.9

## ➤ *Clinical application of Color Doppler Echocardiography*

- ✓ Intra-operative Direct Echo
- ✓ TEE



*Visualization of thoracic dissecting aortic aneurysm by Transesophageal Doppler color flow mapping.*



# 私の大きな経験

公立昭和病院に Demotion → Depression

患者さんに助けられた経験

医者は患者を救うのと同様に、患者に救われる

医の原点：患者さんとともに生きなければならない



**Patient-oriented Clinic & Research**

(患者の為の臨床、研究)

# Brain Protection

- Hypothermic Circulatory Arrest

Griep 1975

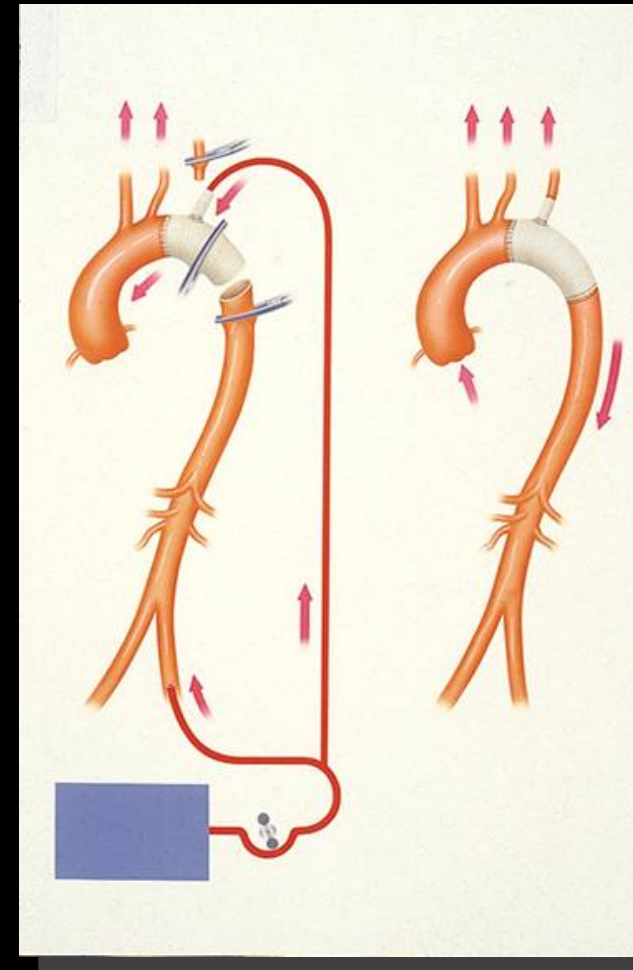
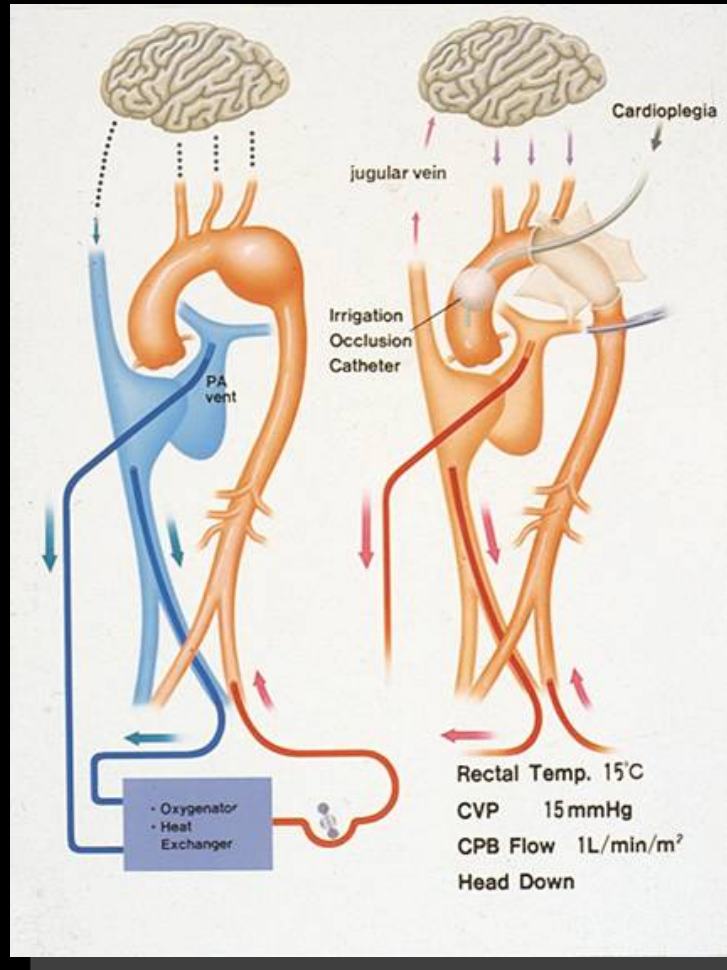
- Antegrade Cerebral Perfusion

DeBakey 1957

- Retrograde Cerebral Perfusion (Circulation)

Ueda 1990, Takamoto 1992

# Retrograde Cerebral Circulation



*Takamoto S, The Journal of Cardiovascular Surgery, 1992;33; 560-7*

# 新たな認識

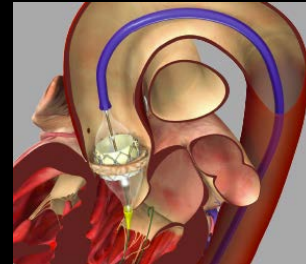
- 医師は患者によって生かされる
- 病気を治すのは患者の生命の力

# 医学医療の進歩

- 胸部大動脈瘤手術 手術死亡率  
40年前 50%以上  
現在 5%
- 人工心臓、心臓移植
- 遺伝子治療
- 再生医療
- ロボット手術
- .....
- .....

# 医学の進歩

- Heart Transplant, LVAS
- Regenerative Medicine
- Robotic Surgery
- TAVR, MitraClip
- Stent Graft
- .....



For research only. For use with models only. ©2012 Abbott. All rights reserved.  
This device may be investigational and not intended for sale in Europe.  
CAUTION: Investigational device limited by Federal (U.S.) to investigational use only.



# 医学の幻想

- 人間いつまでも長生きできる
- 医者は病気を治すものである
- 病気はその内征服できる
- 医学が進歩すれば、生命も作ることができる

# 人間の限界



- 大宇宙            137億光年
- 月                約38万Km        光で1.3秒
- はやぶさ        約3億Km        光で15分
- 小宇宙            医学も知らないことだらけ

# Big Universe

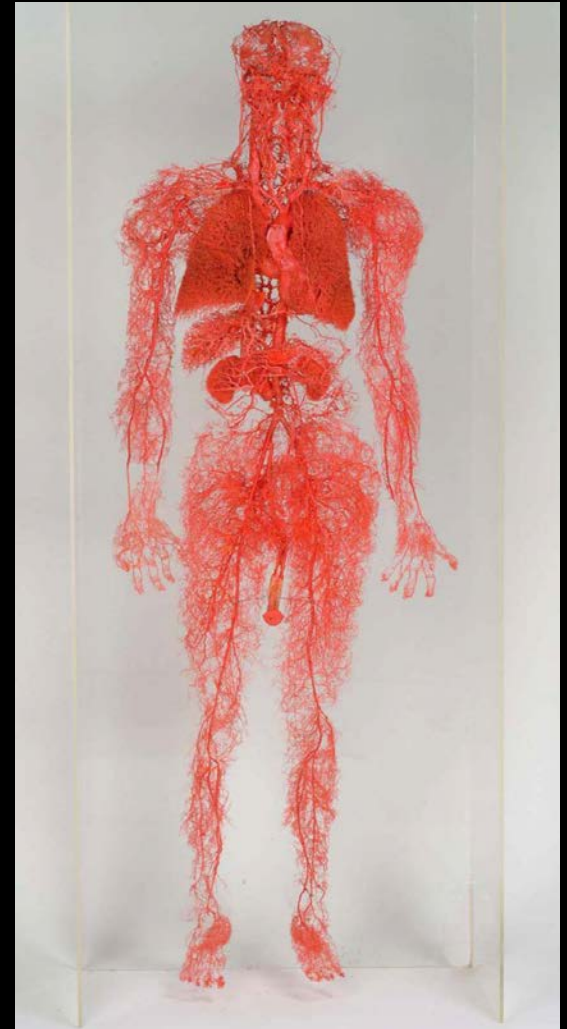


Planet ???

*Andromeda Galaxy*

*2,000,000 light year away from the Earth*

# Small Universe



# Life 生命



- 卵子と精子が生命の源となる。
- 細胞は分裂、分化して臓器となる。
- 人は70兆の細胞からなる。
- 70兆の細胞が一つの生命のために自動的に制御されている。
- 人は脳で考え、独立した生き物として動くことができる。
- どの人も体のなかの細胞が全て正常ではない。
- その意味で正常と病気の差はわずかである。

生命とは極めて複雑で非常に価値のあるもので、人間の知恵により到達できるものではない。

# 生 命

- 生命は神様からいただいたもの
- だから、大切にしなければならない
- 人の生命はどれも同じく貴重である
- 肉体は死んでも、精神は生きている
- 医学が進歩しても、生命は人の力では作れない
- 生きている生命は互いに助け合わなければならない



# 医療で我々は何ができるのか

- こうすれば、患者は治っていきだろうということ  
は分かっている。  
心臓手術も悪い弁、血管を治すだけ。
- しかし、その細かなメカニズムはほんの  
一部しか分かかっていない。
- 実際に治るのは**患者の生命力**。
- 医師は**ガイド役**にしか過ぎない。

# 感染症との人類の戦い

- 人類はいまだ勝利せず。
- 新たな強烈な感染症の出現  
SARS, 新インフルエンザ  
MERS
- 従来からの感染症再燃  
結核、肺炎、創部感染
- 人間の驕りへの警告



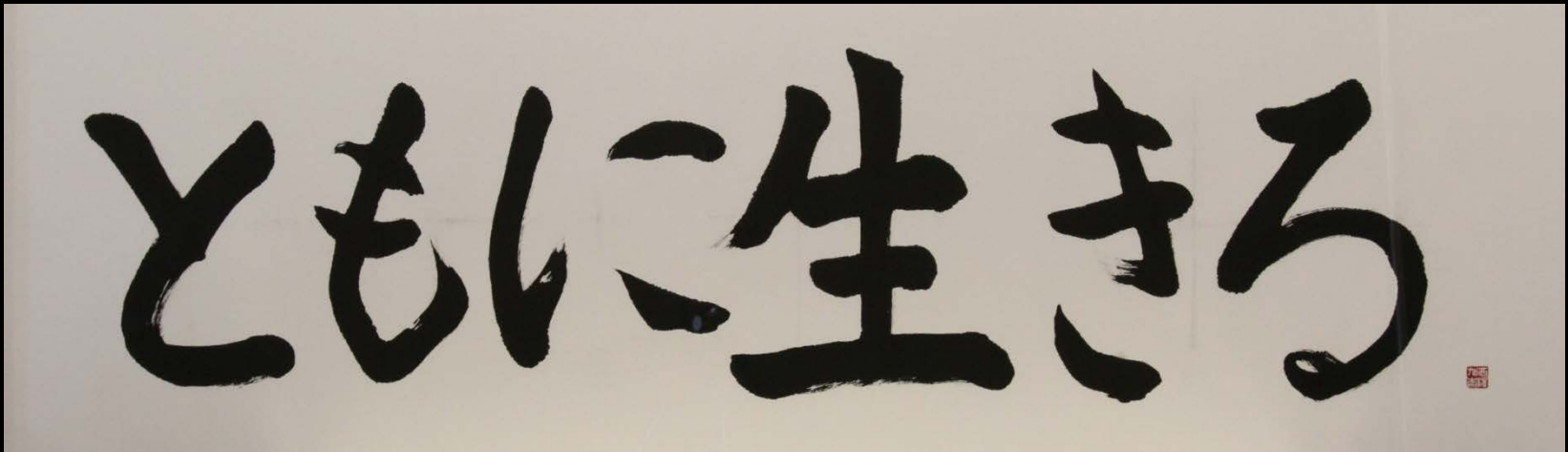
# 医師は患者のガイドである

- 病気の治療は山登りのようなものである
- 医師は患者の山登りのよきガイドでないといけない
- 医師は患者とともに歩まなければならない
- とともに歩むところに癒しがある



# ともに生きる

- 時にはぶつかることもある
- それを**乗り越える情熱**を持つ
- さらによいものを目指して**我慢**する
- 決して甘いものではない
- **一生懸命**生きる
- 乗り越えたときの喜びは感動を呼ぶ **出会い**
- “**我と汝**”の世界



Together

Live



This letter indicates Bud of Tree arises. It means all life is born.  
Japanese "Live" means life and to be born also, wider than English.

# Meaning : To Live

- In Japanese 生きる (IKIRU)  
to live : to have a life mentally, spiritually,  
emotionally  
a simple but powerful word and inspire a person
- In English :  
to live : to have a daily physical life  
In German: leben

# Health Care

- Patient-centered Care Balint 1969
- Doctor-centered Care

- Relationship-centered Care

Pew-Fetzer Task Force 1994

Clinician-Patient Relationship

Clinician-Clinician Relationship

Clinician-Community Relationship

# Relationship-centered Care

## Clinician-Patient

- Each patient is a unique individual
- Respect Patient and his values, emotions
- Protection against burnout

## Clinician-Clinician

- Team approach
- Learn cooperatively

## Clinician-Community

- Respect for community integrity

# 組織のミッションを明確に

## 三井記念病院のミッション

旧) 三井記念病院は全人的視点に立ち最新最良の医療を提供し社会に貢献します



新) 三井記念病院は患者の生命(いのち)を大切にし 患者とともに生きる医療を行いより良い社会のために貢献します

# よりよい Team Work のために

- 喜んで、チームの中の他人の為に犠牲的精神を発揮できること
- 一人は皆のため、皆は一人の為
- Servant Leadership が存在するところには 正しい Team Work がある。



# Servant Leadership

Robert K. Greenleaf

- **Servant Leadership**は力づくで引っ張るのではなく、**Mission**に向かって自発的に歩み始める人を後押しする。それは使命感に基づいてなされる高貴な行動であり、組織やチームに目標を達成させる大きな力になる。
- **Servant Leader**はまず**相手に奉仕**し、その後相手を導くものである。

# Leadership

Strategic Thinking

戦略的思考

Emotional Intelligence

情緒的理性

**変革への挑戦**

# Strategic Thinking

## リーダーの責任

	ルーティン	リーダーとしての役割
<b>Direction</b> ディレクション	問題を定義し、解決策を提供する	適応可能な挑戦を特定し、問題や課題を設定する
<b>Protection</b> 防御	組織への外的脅威を防御する	耐えられる範囲でのプレッシャーを恒常的に与える
<b>Orientation</b> オリエンテーション	役割や責任を明らかにする	現時点における役割に挑戦し、新しい役割が与えられることに対してのプレッシャーに耐える
<b>Managing conflict</b> 争点の調整	争点がある時に秩序を回復させる	争点となっていることに着目し、それを表面化させる
<b>Shaping norms</b> 基準をつくる	規範を維持させる	非生産的な規範に対して挑戦する

出典: The Work of Leadership, Ronald A. Heifetz and Donald L. Laurie

# Emotional Intelligence (情緒的理性)の要素

	定義
Self-awareness 自己形成	自身の心的状況、感情を認識、理解し、可能な限り、他へ影響することを操作する能力
Self-Regulation 自己規制	逆境の中でもコントロールし、立て直すことのできる能力
Motivation 動機	金銭やステータスを超えたところで働く意欲
Empathy 共感	人の感情を理解し、湧きたてる能力
Social skill 社会的能力	人間関係を円滑に保ちネットワークを構築する傾向

# 警視庁のミッション策定

旧)「信頼される警視庁」「頼もしい警視庁」  
(第3者の評価)



新)首都東京の安全・安心を守る  
(自分が何をするのか)

都民から委託された権力

# 明確なミッションを持たないと・・・

- 人間は弱いので、目の前の得か損かで振り回される。
- 色々な複雑な事態に面した時に、自分の信念がないと、目の前の得の方にどうしても寄って行く。
- そのような人間は風見鶏と呼ばれ、誰からも信頼されない。
- 政治家、経済人、教育人、その他多くの人がそれに巻き込まれている。

# 失敗を恐れない 失敗を許す

- 失敗を通じて、自分の限界を実感し「自分一人ではなく、周囲の人と補い合うことで物事を達成できている」ことに気づくことができる。
- 成功だけを追い求めているだけでは、成長できない。失敗を恐れずに挑戦し、新たな成果を得ることで成長できる。
- 失敗を許す環境が大事。

# 偉大なリーダー

偉大なリーダーは、ほとんどのことを**失敗から学ぶ**。  
灰の中から舞い上がるフェニックスのごとく、災難があるたびに強くなり、自信につなげる。





# Clinical Database の発展

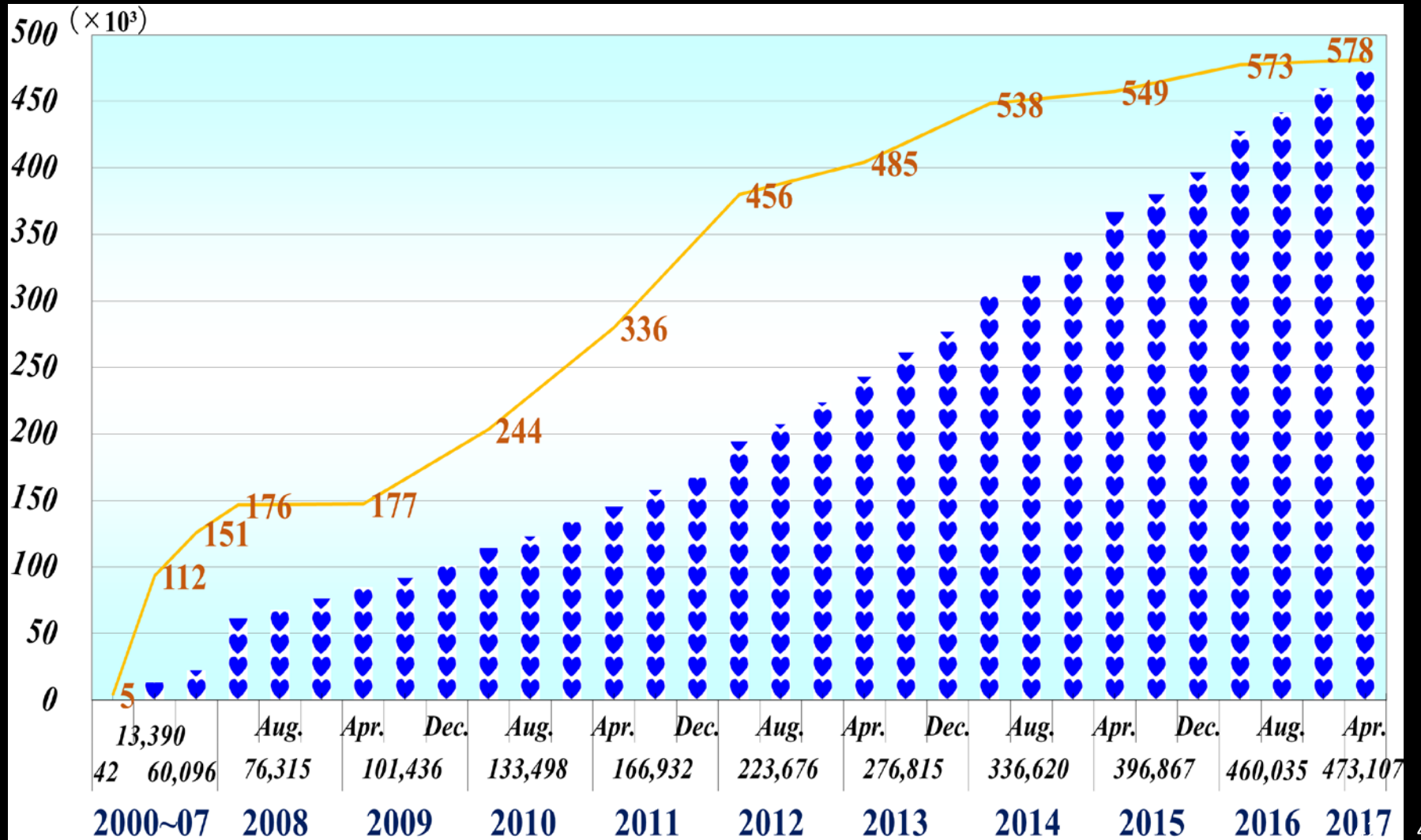
## 医療の質の向上

- 2000年 日本心臓血管外科手術データベースが発足。  
Japan Cardiovascular Surgery Database (JCVSD)
- 2008年 先天性部門 (Congenital Section) が発足。
- 2011年 NCD (National Clinical Database)が外科系9学会で発足。
- 2013年 心臓血管外科学会として 特別サイトビジットを施行。
- 2016年 Web Conference を施行。

# Adult Database

578 Units, Data Volume 473,107

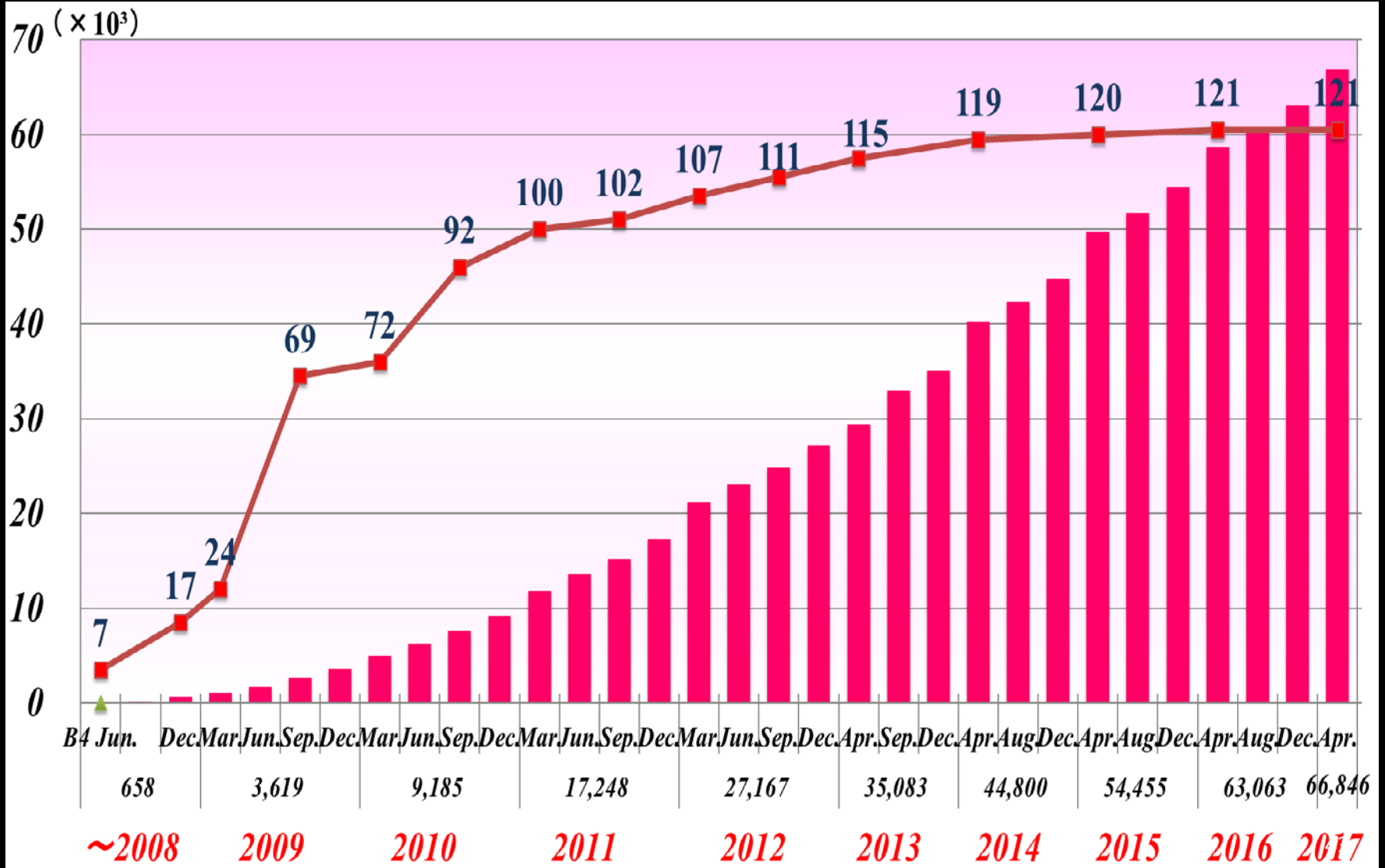
JCVSD



# Congenital Database

121 Units, Data Volume 66,846

JCVSD



# 心臓血管外科特別サイトビジット

- Bristol の教訓
  - 手術成績が悪かったにも関わらず、学会は何もせず、多くの小児が命を失った
- 2012年の全施設のデータが始めて報告された
- 心臓血管外科学会、胸部外科学会、データベース機構で話し合い
  - ✓ 医療の質の向上への学会の責任
  - ✓ データ並びにシステムの正確性のチェック
  - ✓ 施設側に立った指導

# JCVSDによる医療の質改善

- 全データベースより、問題ある施設を抽出
- 各施設とWebによるコンサルタント
- Site Visit による 教育的Conference
- 問題点把握と改善による質の改善
- 学会の患者へのフィードバック

学会も患者とともに生きる

- 本邦の外科手術成績は世界でもトップ  
特に心臓移植、大動脈手術

# ともに生きる

- 能力のありなしに関わらず、生命を持つその人を大事にする
- 皆、平等
- その人の能力を最大限引き出す
- 誰も傷つけない
- 生きようとするエネルギーを大切にする
- 悲しみをともに、また喜びをともに
- そこに生きる意味(希望)があるのではないだろうか
- 日本人の備わった特性かも
- 世界との関わりも同じように
- 旧来の資本主義、個人主義に代わりうる生き方
- サーバントリーダーとしての役割

# 世の中を動かすには

- 失敗を恐れない
- Mission
- Passion
- Action





ともに生きよう！

ありがとうございました





新潮新書

Brevity is the soul of wit,  
and tediousness the limbs and outward flourishes.

高本眞一

TAKAMOTO Shinichi

# 患者さんに伝えたい 医師の本心



新刊

新潮新書

妻の乳がんで  
私も  
「患者の家族」  
になった。

